

国語科学習指導案

平成 28 年 1 月 29 日 5 校時
3 年 1 組 指導者 T1 松村 淳
T2 加藤 陽子
(司書教諭)

◎ 目指す言語能力

- ・ C 読むこと カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと

授業の視点

自分の選んだ科学読み物を読んで初めて知ったり驚いたりしたことの中からひとつを選び、その内容を大きな付箋に書かせたことは、自分が一番教えた「そうなんだ」を明確にするために有効であったか。

I 単元名 科学読み物をしょうかいしよう。

(中心教材『ありの行列』 副教材 科学読み物)

II 単元を貫く言語活動 科学読み物を読み、「そうなんだ」発表会を開く

III 単元の考察

- (1) 本単元は、科学読み物を読むことで新たな知識を発見する楽しさに気付かせることを重点としている。これは学習指導要領第 3 学年及び第 4 学年の「C 読むこと」指導事項カ「目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」にあたる。普段生活している中で、児童を取り巻いている「生き物」や「自然現象」などは、「当たり前」と感じてしまうことが多く、「発見」や「驚き」に出会うことは少ない。科学読み物に触れ、日常の当たり前なことの仕組みに気付き衝撃を受けることは児童の探究心を引き出し、これからの思考力や想像力を培う糧になると考える。

教材文は「ありの行列」ができる理由をウィルソンの実験や観察をもとに検証していく過程を述べている説明文であり、挿絵もわかりやすく、児童が初めて「科学読み物」に触れ、興味を持って読むことができる作品である。また文中に登場する「あり」は、児童が普段からよく目にし、ごく身近に生息している生き物であることから、ありがたさを運んだり行列をつくったりしているのを見たことがあるという、実際の体験をもとに文章を読み進めることができる。一方で「どうやって行列を作っているのか」と不思議に感じてありの行列をじっくり見ることはほとんどない。そのため、今まで不思議に思わなかったありの生態について「新たな発見」ができる本教材は、児童が「科学読み物」を読むことや、それによって新たな知識を得ることの楽しさを感じるために適していると考えられる。

授業では、科学読み物を読んで初めて知ったり驚いたりしたことを「そうなんだ」と位置付け、「そうなんだ」を見つけるために付箋を活用しながら読みを深める活動を取り入れる。付箋は必要な部分に直接貼ることができ、また簡単にメモをすることもできることから再度ページを開き確認する時の目印として有効である。また作業が簡便で児童が主体的に活動しやすい。

また本単元では、教材文で科学読み物の楽しさに気付かせ、その後副教材を読むことでさらに科学読み物に対する興味を引き出していきたいと考えている。そして主体的に科学読み物を読んで更に読書の幅を広げられるよう、単元全体を貫く言語活動として「科学読み物を読んでそうなんだ発表会を開く」という活動を設定する。これは言語活動例エ「紹介したい本を取り上げて説明すること」にあたる。「そうなんだ発

表会」では自分が一番教えたかった発見を友だちの前で紹介し、友だちに興味を持ってもらったり、ほめられたりする経験を通して「もっと知りたい」「もっと読みたい」という児童の意欲を高めることができると思う。また友だちの発表を聞くことで新たな発見に気付いたり、新しい知識を得たりすることの楽しさを更に実感し、幅広く読書ができるようになると思う。

(2) 児童の実態 略

(3) 単元（題材）の系統

児童は、2年生の「かさこじぞう」で並行読書として自分で選んだ昔話を読み、友だちにお気に入りの場面を紹介する「紹介スタンド」を作成する活動をしている。また、3年生「本を使って調べよう」では、目的に応じて図鑑や辞典を利用したり目次や索引を手掛かりに調べたりする方法を学んだ。2学期の「三年とうげ」では、一人一冊選んだ民話や昔話の面白さにふれ、一番面白いと思う場面を紹介する活動を行った。今回の「ありの行列」は説明文の教材であるが、科学読み物を紹介するという視点で読書の幅を広げたいと考える。そして4年生では、自分や周りの人がどのように文章を読んでいるのかを考え、文章の種類や読む目的に合わせて、どこが大切なのかを考えながら本や文章を読んで紹介する活動へと発展させる。

IV 指導目標

友達に一番教えたいたいことを見つけるために、科学読み物を読むことができる。

V 評価規準

- ・科学読み物に興味を持ち、知識を得たり好きなところを紹介したりするために、本を選んで楽しんで読書しようとしている。〈関心・意欲・態度〉
- ・楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読んでいる。〈読む能力〉
- ・分からないことについては国語辞典を使い調べている。
〈知識・理解・技能〉

VI 指導方針

- 児童が無理なく授業に入れるよう、前単元「こまを楽しむ」や「すがたを変える大豆」で説明文に親しみ、「すがたを変える大豆」では、関連図書を読んだり調べたりする活動を行っておく。
- 副教材の科学読み物は教師が選んだものの中から選ばせるのではなく、図書室の本の中から自分の力で探し出す活動を取り入れる。
- 児童が読みたいという意欲を持って取り組めるように、科学読み物については次の点に配慮して教師と図書館従事職員で事前に選定し読みやすい本を用意しておく。
 - ・観察や実験の様子がよくわかるよう、写真や挿絵が多いものを揃えておく。
 - ・読書が得意な児童、苦手な児童どちらの児童も意欲的に取り組めるよう、読み応えのあるものからやさしいものまで幅広い種類の本を揃えておく。
 - ・文字の大きさや漢字に振り仮名が書かれているものなど、児童が抵抗なく読めるものを揃えておく。
 - ・冊数は十分用意しておき、本棚の中から児童が自分で本を探しやすくするために背表紙に科学読み物であることが分かるマークをつけておく。

- 児童が本を読んで見つけた「そうなんだ」を明確にできるよう、次の準備をしておく。
 - ・児童が本の中から選んだ文章がどこにあるかすぐに分かるよう、取り外しできる付箋を用意する。
 - ・児童の活動に合わせて付箋は小さいものから中・大へと大きさを変え記述ができるようにする。
 - ・思考の過程が視覚的に分かりやすくなるよう、大きさに合わせて色の違う付箋を用いる。
 - ・活動の経緯がまとめの際に可視化できるよう、付箋を移動して貼るためのワークシートを用意する。また、完成したワークシートは他の学年の児童も見られるようラミネートで体裁を整え図書室の4類付近に掲示する。
- 児童の中には、個別に支援を必要とする児童もいるため、適宜T1またはT2の教師が個別支援をしていく。
 - ・文章を追って一緒に読む支援。
 - ・抜き出す言葉や文章のヒントになる部分を示す。
 - ・付箋に書く内容や順序をモデルを用いて確認させる。

Ⅶ 指導計画 (全7時間計画、本時は6 / 7)

主 な 学 習 活 動	時 間	評 価 項 目 (評価方法)
○単元のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 科学読み物を読み、「そうなんだ」発表会を開こう。 </div> ○科学読み物について知る。 ○分からない言葉を調べる。	1	【関心・意欲・態度】 ○学習の見通しをもって、教材「ありの行列」を読もうとしている。 (音読の様子、ノート)
○「ありの行列」を読んで、「そうなんだ」と思うところに小付箋を貼る。 ○小付箋を手掛かりにもう一度読み返し、友だちに教えたい「そうなんだ」を3つ程度に絞り、中付箋を貼る。 ○中付箋に簡単な内容を書く。	1	【読む能力】 ○「ありはおしりのところからとくべつのえきを出す。」「えさが多いほど、においが強くなる。」など、初めて知ったり驚いたりしたことを簡潔に付箋に書いている。 (中付箋)
○中付箋を読み返し、一番の「そうなんだ」に大付箋を貼る。 ○大付箋に説明の文を書く。 ○グループで「そうなんだ」を発表し合う。	1	【読む能力】 ○一番友だちに教えたい「そうなんだ」を分かりやすくするために、中付箋紙の内容に具体例や理由を加えたりしている。(大付箋)
○図書室で科学読み物を読み、お気に入りを選び1冊選ぶ。 *図書室	1	【関心・意欲・態度】 ○科学読み物の面白さや、読むことで新しい知識が増えることに気付いている。 (活動の様子、読書ファイル)

<ul style="list-style-type: none"> ○「そうなんだ」という視点から選んだ本を読み、小付箋を貼る。 ○小付箋を手掛かりに、友だちに教えたい「そうなんだ」を3つ程度に絞り中付箋を貼る。 ○中付箋に簡単な内容を書く。 	1	【読む能力】 ○初めて知ったり驚いたりしたことの中から友だちに教えたいことを簡潔に付箋に書いている。(中付箋)
<ul style="list-style-type: none"> ○友だちに教えたい一番の「そうなんだ」を選び、大付箋を貼る。 ○大付箋に説明の文を書く。 *図書室	本時	【読む能力】 ○一番友だちに教えたい「そうなんだ」を分かりやすくするために、中付箋紙の内容に具体例や理由を加えたりしている。(大付箋)
<ul style="list-style-type: none"> ○「そうなんだ、発表会」を開く。 ○単元全体を振り返る。 	1	【関心・意欲・態度】 ○自分の見つけた「そうなんだ」を友だちに紹介している。(活動の様子)

VIII 本時の学習（本時は6/7）

1 ねらい

自分で読み進めている科学読み物の中で、一番の「そうなんだ」を選び、その内容を大付箋に書くことで、自分が一番教えたい内容を明確にすることができる。

2 準備・資料

教師：児童が選定した科学読み物

付箋の見本

大きい付箋

ホワイトボード

児童：筆記用具

3 本時の展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点・支援	
		T1	T2
<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りをし、絞った付箋について確認する。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 友だちに教えたい一番の「そうなんだ」を見つけて説明を書こう。 </div> <p>(児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は一番を選ぶんだな ・どれを選ぼうかな ・友だちがびっくりするようのがいいな ・どうやって一番を見つけよう <ul style="list-style-type: none"> ○大きな付箋に書くのに必 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数人に前回絞った付箋を紹介してもらう。 ・児童に今日のめあてを意識させる。 ・本時のめあてを書いた模造紙を、ホワイトボードに貼り全員で読ませる。 ・大きい付箋を貼るポイントを押さえる。 一番友達に教えたいこと 一番びっくりしたこと ・ありの行列でまとめた模 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">評価項目</div> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室に児童が選んだ本をまとめておき、授業が始まる時には、子どもたちが各自本を持ってられるよう準備しておく。 ・「ありの行列」を想起

<p>要なことを考える。 (児童の予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく書けるといいと思う ・具体例を書くと分かりやすいと思うな 		<p>造紙を貼る。</p>	<p>させどのようなことに気を付けて大付箋に記述したかを確認する。 (初めて知ったり驚いたりしたことを書く。 具体例や理由を挙げて書く。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に書かれたものと詳しく書かれたものの大付箋の例を提示し違いを比べる。
<p>○3つ程度に絞った付箋を手掛かりに、一番の「そうなんだ」を選ぶ。 (児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これが一番驚いたな ・これなら上手に説明できそう ・これを一番友だちに教えたいな ・何を選んだらいいかわからないな <p>○一つに絞れた児童から、大きい付箋に分かったことについての説明の文を書く。 (児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん説明を書きたいな ・分かりやすく書けるかな ・どこを書けばいいかわからないな 	<p>10</p>	<p>(担任と司書教諭の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸惑っている児童と一緒に追って読むなどの支援をする。 ・一つに絞るのが困難な児童に「一番知って驚いたこと」について付箋を確認しながら一緒に考える。 <p>・全体の様子を見て一番を絞れた児童から、大きい付箋に取り掛かることを伝える。</p> <p>・視点を押さえ、付箋が書けた児童は他の「そうなんだ」についても説明を書いてよいことを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない言葉がある時のために国語辞典を用意しておく。
<p>○何枚か書けた児童の付箋の例を見る。</p>	<p>15</p>	<p>(担任と司書教諭の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童の付箋と比較して自分の書かれた内容を確認させ、よりよい説明にさせる。 <p>・何枚か書けている児童を机間巡視する際に見つけておく。</p> <p>・児童の大付箋を紹介する。</p>	<p>・視点到気を付けて付箋が書かれているか問いかける。</p> <p>(初めて知ったり驚いたことを書いているか。 具体例や理由を書いているか。)</p>

		<p>(担任と司書教諭の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことに戸惑っている児童には、抜き出す言葉や文章のヒントとなる部分に付箋を貼って示す。 ・書き方の支援としてまず驚いたことを書かせる。
<p>○本時を振り返り、次時の発表への見通しをもつ。 (児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手に大付箋に書けたよ ・一番の「そうなんだ」をわかりやすくするために具体例や理由が書けたぞ ・早く友達に発表したいな 	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想やどのような内容を加えられたかを問いかける。 ・次回は「そうなんだ」発表会をすることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視点に気を付けて付箋に書けていたことを賞賛する。

評価項目
一番友だちに教えたい「そうなんだ」をわかりやすくするために、中付箋紙の内容に具体例や理由を加えたりしている。(読む能力)

◇評価方法
読書態度・大付箋

<板書例>

<p>おんがくは言葉のかわり。</p>	<p>音を出すことができるのはおすだけ。</p>	<p>こおろぎのおんがくは羽根からでている。</p>	<p>【大ふせんに書く時に気を付けるポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知ったり、おどろいたことを書く。 ・具体れいや理由を書く。 	<p>今日のめあて 友だちに教えたい一番の「そうなんだ」を見つけてせつ明を書こう。</p>	<p>科学読み物を読み、「そうなんだ」発表会をしよう。</p>
<p>分かったこと</p> <p>こおろぎのおんがくは言葉のかわりです。なき方によってちがいがありません。</p> <p>こおろぎが羽根をこすって出すおんがくは言葉のかわりです。たとえば、「コロコロリリ・」は「ほかのおすがはいつてはいけない」という意味で「コロリ」は「およめさんになって」という意味でなき方によってちがいがありません。</p>					

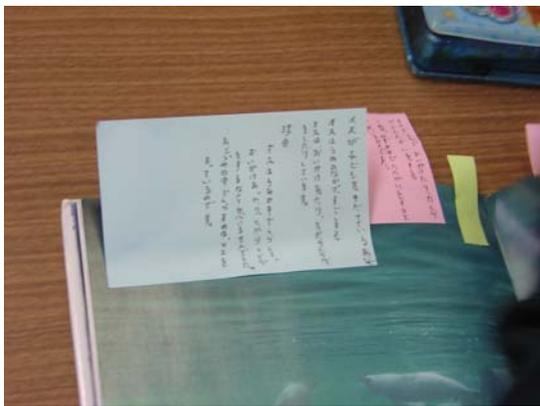
<図書室での授業の様子>

○移動黒板を使って説明をしました。



<付箋を使った学習>

○付箋の大きさを変えて、一番の「そうなんだ」をまとめました。



<児童の様子>

○付箋を貼ったところを読み返し、「そうなんだ」と、始めて知ったことや驚いたことを友達に伝えるために一生懸命に書きました。

